



735HB

HYBRID SECURITY

目次

リモコンの各部名称と注意事項	1
液晶表示アイコンについて	2
ページャーリモコンの設定	3
ページャーに関する事項	5
衝撃センサーについて	6
システムをセットする	7
システムセット時の異常	10
システムを解除する	10
その他の操作	11
警戒中のシステム動作	12
その他の機能	14
各種機能の設定	15
機能選択項目説明	16
リモコン登録方法	17
緊急リセットコード変更方法	18
Q & A	19
保証・無料修理規定	21

ページャー操作クイックガイド

ボタン操作早見表

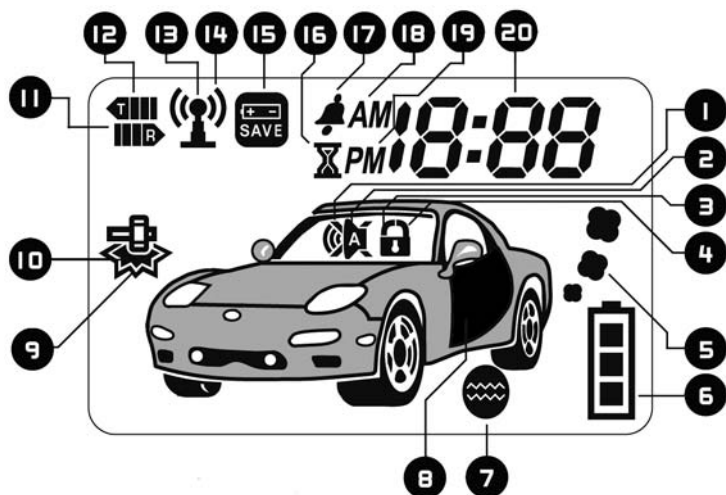
機能	ボタン操作
セット/解除(確認チャープ音有)	I 短押
サイレントモードによるセット/解除(確認チャープ音無)	II 短押
消音セット/解除(確認チャープ音無)	III 短押
センサーバイパスモードのセット	I & II 短押
ドア・ロック/アンロックのみの操作	II & III 短押
パニック機能	I or II or III 長押
車両状況確認	Ⓜ 短押
バックライト	F 短押
パイプモード/メロディモード	F & II 短押
パワーセーブモードON/OFF	F & I 短押

リモコンの各部名称と注意事項



- ※ ページャーリモコンは振動、衝撃に対して非常にデリケートな製品です。
- ※ 小さな振動や衝撃でも長時間にわたり連続/断続的に加えられた場合には、破損します。
- ※ 振動や衝撃により破損した場合の主な症状としては、「アンサーバック(通知)しなくなる」、「液晶表示がおかしくなる」等があげられます。
- ※ アルカリ電池はその性質上過放電が起きた場合には、液漏れを起こします。一旦液漏れが発生すると、内部回路や部品がその液により腐食し、修理による性能の回復が困難となります。
- ※ 長期間使用しない場合には、電池を抜いた状態で保存するようにしてください。残量の少ない電池を入れたまま2週間以上放置したり、電池残量の少ない状態で使用し続けたりすると過放電により液漏れを起こす危険度が高くなります。
- ※ 充電式電池は使用できません。かならずアルカリ乾電池を使用してください。
- ※ 精密機器であるため、ホコリや水分がページャー内部に浸入すると故障の原因となります。ポケットの中等ホコリの多い場所、湿度が高い場所での保管は極力避けるようにしてください。

液晶表示アイコンについて



- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 消音 | 11. 受信回路スタンバイ |
| 2. メロディモード | 12. 送信回路スタンバイ |
| 3. セット/ロック | 13. 受信圏内表示 |
| 4. 解除/アンロック | 14. 信号送出表示 |
| 5. エンジン始動検知 | 15. パワーセーブモード |
| 6. リモコン電池残量 | 16. カウントダウンタイマー |
| 7. バイブモード | 17. アラーム時計モード |
| 8. ドア開/閉 | 18. AM表示 |
| 9. 強衝撃検知 | 19. PM表示 |
| 10. 弱衝撃検知
衝撃センサーバイパス | 20. 時刻表示 |

注意！

※ システムセット/解除時のアンサーバックはシステムの構造上2回行われる場合があります。

※ センサーが短時間（8秒以内）に連続して反応（警告反応）した場合には通信システムの構造上2回目以降のアンサーバックは行われません。

ページャーリモコンの設定

時計/アラーム/タイマー機能の設定

ページャーリモコンには時計機能があります。電池交換の際には時計を設定し直す必要がありますので、下記方法を参照して時計を設定してください。また、時計にはアラーム機能やカウントダウンタイマー機能があります。

時計/アラーム/タイマーの設定はまず **F** ボタンを長く押し時計設定モードに入ります。その後下記表の操作欄の回数ボタンを短く押す事で各設定を行う事ができます。

機能	操作	アイコン表示	時間の設定をするには
時計の設定/「時」調整	F を長押し	^{AM} 12:00 [®]	Ⓜ ボタンを押すごとに時間の増加またはON設定ができます。ボタンを押したままにすることで早く増加できます。
時計の「分」調整	F 1回押し	^{AM} 12:00 [®]	
アラームの「時」調整	F 2回押し	^{AM} 12:00 [®]	
アラームの「分」調整	F 3回押し	^{AM} 12:00 [®]	
アラームのON/OFF	F 4回押し	[▲] OFF	Ⓜ ボタンを押すごとに時間の減少またはOFF設定ができます。ボタンを押したままにすることで早く減少できます。
タイマーの「時」調整	F 5回押し	X 0:00 [®]	
タイマーの「分」調整	F 6回押し	X 0:00 [®]	
タイマーのON/OFF	F 7回押し	X OFF	

簡易カウントダウンタイマー機能

F ボタンを押しながら **Ⓜ** ボタンを短く押すことにより10分、20分、30分、60分、90分、120分のカウントダウンタイマーを簡単に使用できます。使い方は、設定したい時間が表示されるまで **F** ボタンを押しながら **Ⓜ** ボタンを短く押します。使いたい時間が表示されたら(時間とカウントダウンタイマーを示す砂時計アイコンが表示されます。**X** 0:10)そのままにします。この時点でカウントダウンタイマーがスタートします。

※ 時計/アラーム/タイマーの各機能は本システムの機能とは関係ありません。

メロディーモードとバイブモードの切替え

ページャーリモコンには車両からのアンサーバックを音で知らせるメロディーモードと振動によって伝えるバイブモードがあります。

それぞれのモードは **F** ボタンを押しながら **Ⓜ** ボタンを短く押すたびに入れかわりメロディーモードが選択されるとメロディが流れバイブモードが選択されると一度振動します。




ページャーリモコンの設定 (続き)

パワーセーブ機能


ページャーリモコンの受信機能は、システムのセット／解除にかかわらず常にONの状態になっています。システムが解除になっていて長時間アンサーバックを受信する必要がない場合にこの受信機能をOFFすることにより、ページャーの電池寿命を長くすることができます。


この機能を使うには必ずシステムが解除になっている必要があります!

まず **F** ボタンを押しながら **I** ボタンを押します。

液晶画面に  アイコンが表示されページャーのパワーセーブモードがONになったことを知らせます。最後にページャーのボタンを押してから2分後にページャーの受信器がOFF状態になり、受信圏内表示アイコン  (アンテナアイコン)が消え受信器がOFFになった事を知らせます。この時同時に受信回路スタンバイアイコン  も消えます。

ヒント

パワーセーブモード中でもページャーのボタンを押すと一時的に受信機能はON状態になります。 アイコンが表示されている状態でシステムが解除状態であれば、2分以上ページャーのボタン操作をしなければ自動的にページャーの受信機能はOFF状態にもどります。

 アイコンが表示されていてもシステムがセット中は受信機能はOFFになりません。




パワーセーブモードを終了し通常モードに戻すにはもう一度 **F** ボタンを押しながら **I** ボタンを押します。

バックライト機能

ページャーリモコンには暗所などで液晶画面を見やすくするためのELバックライトが装備されています。ELバックライトは通常のボタン操作を行うと自動的に点灯するようになっています。

ELバックライトだけを点灯し、他の操作をしたくない場合には **F** ボタンを一度短く押します。ELバックライトが約5秒間点灯します。

ページャーの電池交換

ページャーの電池残量が少なくなると液晶画面に  アイコンが表示されます。 アイコンは通常、ボタン操作を行った際に警告音と同時に表示されることがほとんどです。ページャーリモコンはアルカリ単4乾電池を使用します。電池交換の際にはページャーリモコンから電池を抜いた後、一旦  ボタンを押してから電池を入れてください。電池を挿入後は時計等の設定を行ってください。

残量表示は  と  の2段階です。

ページャーに関する事項

TR53A-5Gページャーリモコンは精密機器であるため振動や衝撃、ほこり、湿気等に対して非常にデリケートな製品です。本頁ではページャーの取扱い上特に注意すべき点を紹介していますので、良く読んで正しくお使いください。

液漏れについて

アルカリ電池はその性質上過放電が起きた場合には液漏れを起こします。一旦液漏れが発生すると、ページャーリモコンの内部回路や部品がその液により腐食し、修理による性能の回復が困難となります。

ページャーリモコンを長期間使用しない場合には電池を抜いた状態で保存するようにしてください。残量の少ない電池を入れたまま2週間以上放置したり、電池残量の少ない状態で使用し続けたりすると過放電により液漏れを起こす危険度が高くなります。

液晶画面表示

ページャーの液晶画面は画面を見る際の角度によって本来表示されるべき以外のアイコンが見えることがあります、異常ではありません。

※ 特に斜め方向から覗き込むと関係ないアイコンが見える場合があります。

電池交換

電池交換を行うとまれに関係ないアイコンが表示されることがあります。これはページャーの電池を抜いても、しばらくのあいだ回路内に残存電圧があるために起こる現象です。このような症状が出た場合には「一旦電池を抜き、電池が入っていない状態でボタン(どのボタンでも良い)を3秒ほど押します」。その後再度電池を入れてください。

通知と操作のタイミング

警告通知時または異常発報時には、通知開始から数秒間は常に車両システムが送信状態、ページャー側が受信状態となります。このため通知開始数秒間はページャーからの操作はできません。

また、ページャーのボタン操作をしている間(ボタンを押している間)はページャーは送信状態となっていますので、この間は車両側からの通知を受信することができません。セット/解除時のボタン操作を必要以上に長く行くと、車両側からの通知(アンサーバック)を受信できません。この場合「車両側は正しくセットされているのにページャー側は正しく反応しない」という状態になることがあり、これを故障とまちがえることがありますが異常ではありません。再度システムをセット/解除することによってページャーの液晶表示は正しく更新されます。

システムセット/解除時のアンサーバックはシステムの構造上2回行われる場合があります。

センサーが短時間(8秒以内)に連続して反応(警告反応)した場合には通信システムの構造上2回目以降のアンサーバックが行われません。

ページャーに関する事項 (続き)

通信距離

本製品は車載器とページャー間の通信に電波を使用しているため、製品を使用する周囲の電波環境や設置環境からの影響を強く受けます。特に警告通知や異常発報通知時の車載器からページャーへの通信は影響を受けやすくなります。ページャーのアンテナ部分が金属物に触れていたり、人間が触っていたりすると、普段は問題なく受信できている距離でも受信できなくなることがあります。

また、テレビ塔や携帯電話の中継基地等の強い電波を発している場所の近くでは、ページャーでの受信のみならず操作もできない場合があります。

取り扱い

ページャーリモコンは振動、衝撃に対して非常にデリケートな製品です。小さな振動や衝撃でも長時間にわたり連続/断続的に加えられたり、ほこりの多い場所や湿気の多い場所で長時間使用した場合にはページャーリモコンは破損します。振動や衝撃により破損した場合の主な症状としては「アンサーバック (通知) しなくなる」、「液晶表示がおかしくなる」等があげられます。

保管について

ページャー内部にホコリ等が侵入すると故障の原因となりますので、ポケットの中等のホコリが多い場所には保管しないようにしてください。

付属の電池について

製品に同梱の電池は動作確認用です。製品同梱の電池は寿命が短い事がありますが異常ではありません。単4アルカリ乾電池を新たに購入してご使用ください。

電池寿命について

通常使用で約40日～50日、バンプモードではおよそ1/3程度になります。

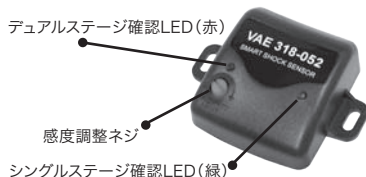
衝撃センサーについて

感度について

本センサーは車両ボディに加えられた瞬間的な衝撃を検知し、衝撃の強弱を判別して警告信号または警報信号を出力し、アラームを作動させるためのセンサーです。瞬間的な衝撃を検知するため、適度な感度設定であれば風などによるゆれには反応しません。ただし、台風時の突風や雷、花火、ヘリコプターなどの瞬間的な振動が発生する場合は作動する可能性があります。

感度調整

センサーコントロールユニット中央部にある感度調整ネジをまわして感度調整します。ネジを時計回りにまわすとセンサー感度が敏感になり、逆にまわすとセンサー感度は低くなります。



システムをセットする

システムセット(警戒)

通常モードのセット

リモコンの **I** ボタンを1回短く押します。



車両側動作

チャープ音が1回発せられ動作確認LED(以降LED)が点灯します。(ハザードフラッシュの配線が施されている場合は)ハザードが1回点滅し、(ドアロックの接続がされている場合には)ドアがロックされ、動作中出力(GWA)が開始されます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わり、システムが警戒を始めたことを知らせます。

※ LED点灯中にドアを開けたり、イグニッションを回してもサイレンは鳴動しません。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時にチャープ音が1回鳴り(パイプモードでは振動1回)セットされた事を知らせます。



警戒中表示に変化



※ システムセット/解除時のアンサーバックはシステムの構造上2回行われる場合があります。

サイレントモードの(リモコンボタンIIによる)セット

リモコンの **II** ボタンを1回短く押すことにより、サイレントモードでセットすることができます。サイレントモードとは、システム警戒時に異常が検知された場合にサイレンは一切鳴らさず、ハザードの点滅だけで車両の異常を周りに伝えるモードです。

II を
1回押します。



車両側動作

LEDが点灯し、ハザードが1回点滅し、ドアがロックされ、動作中出力(GWA)が開始されます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わります。これによりシステムが警戒を始めたことを知らせます。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時に長音が1回鳴り(パイプモードでは振動1回)サイレントモードでセットされた事を知らせます。また、同時に「サイレントモードアイコン」が表示されます。



警戒中表示に変化
同時にサイレントモード表示



※ システムセット/解除時のアンサーバックはシステムの構造上2回行われる場合があります。

システムをセットする (続き)

消音の(リモコンボタンⅢによる)セット

リモコンの **Ⅲ** ボタンを1回短く押すことにより、確認チャープ音を消しながらセットすることができます。警戒中の動作は通常セットの場合と同じです。

Ⅲ を
1回押します。



車両側動作

LEDが点灯し、ハザードが1回点滅し、ドアがロックされ、動作中出力(GWA)が開始されます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わります。これによりシステムが警戒を始めたことを知らせます。



ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時にチャープ音が1回鳴り(パイプモードでは振動1回)セットされた事を知らせます。



警戒中表示に変化



※ システムセット/解除時のアンサーバックはシステムの構造上2回行われる場合があります。

センサーバイパスモードの(リモコンボタンⅠ+Ⅱ)セット

リモコンの **Ⅰ** と **Ⅱ** ボタンを同時に押すと、センサーバイパスモードでセットすることができます。センサーバイパスモードとは衝撃センサーやオプションセンサー(別売)を一時的に検知しないようにセットするモードです。それ以外の車両側動作は通常モードと同じです。

Ⅰ & Ⅱ
を同時に押します。




車両側動作

チャープ音が2回発せられLEDが点灯し、ハザードが1回点滅し、ドアがロックされ、動作中出力(GWA)が開始されます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わります。これによりシステムが警戒を始めたことを知らせます。



ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時にチャープ音が1回鳴り(パイプモードでは振動1回)セットされた事を知らせます。この時センサー類がバイパス状態にある事を知らせる  アイコンも同時に表示されます。



この部分が点滅
警戒中表示に変化



ヒント

- ※ 「通常モードセット」と「消音セット」時のページャーでの液晶表示及び動作は同じです。
- ※ システムセット/解除時のアンサーバックはシステムの構造上2回行われる場合があります。



システムをセットする (続き)

オートアーム機能によるセット …(機能設定した場合のみ)

イグニッションOFF後、最後にドアを開閉した時点から20秒経過すると自動的にセットされます。(ドアロックは行いません)

車両側動作

チャープ音が1回発せられLEDが点灯し、ハザードが1回点滅し、動作中出力(GWA)が開始されます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わり、システムが警戒を始めたことを知らせます。
ドアロックはされません。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時にチャープ音が1回鳴り(パイプモードでは振動1回)セットされた事を知らせます。



警戒中表示に変化



ドアロックは行われないため鍵マークのアイコンは解錠の状態のままとなります

オートリアーム機能によるセット …(機能設定した場合のみ)

システム解除後60秒以内にドアが開けられない場合には、自動的に再セットされます。誤って解除しても自動的に再セットできる便利な機能です。

車両側動作

チャープ音が1回発せられLEDが点灯し、ハザードが1回点滅し、ドアがロックされ、動作中出力(GWA)が開始されます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わり、システムが警戒を始めたことを知らせます。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「解除中」から「警戒中」に変わり、同時にチャープ音が1回鳴り(パイプモードでは振動1回)セットされた事を知らせます。



警戒中表示に変化



※ 結線の方法によってはドアロックの解除に連動してルームランプ等が点灯する車両では利用できません。

ヒント

- どの方法でセットしても、LED点灯中にドアを開けたり、イグニッションを回しても発報はしません。
- オートアーム、オートリアーム共に最後にシステムを解除した際に使用したボタンでのモード(通常またはサイレント)でセットされます。

システムセット時の異常

エラーチャープ

警戒セット時にすでにいずれかのセクター(監視箇所)に信号入力がある場合、警戒セット後にセット時の異常を知らせます。

LEDが点灯中にそれらの信号を取り除き正常な状態にもどしてください。LEDが点滅を始めても、異常信号が入力状態になったままのセクターはバイパスされています。バイパスは異常信号がなくなつてから5秒後に復帰します。

通常モードまたはセンサーバイパスモードのセット時

警戒セット後にチャープ音を2回発し、2回のハザード点滅を行います。

サイレントモードまたは消音セット時

警戒セット後にハザード点滅を2回行います。(チャープ音は鳴りません。)



注意!

- ドア信号入力はドアが一度完全に閉じられるまでバイパスされ、閉じられた後は正常に監視されます。
- セット時に異常となっているセクター(ドア、センサー)は必ずLEDが点灯中に正常な状態(ドアは閉じる、センサーは反応していない状態)にしてください。

※セクターとは監視箇所(ドア、センサー、IG)の総称です。

システムを解除する

通常の(リモコンボタンIによる)解除



リモコンの **I** ボタンを1回短く押します。

車両側動作

チャープ音が3回発せられLEDが消灯し、ハザードが3回点滅します。ドアがアンロックされ、動作中出力(GWA)が停止します。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「警戒中」から「解除中」に変わり、同時にチャープ音が2回鳴り(パイブモードでは振動2回)解除された事を知らせます。



解除中表示に変化



※ システムセット/解除時のアンサーバックはシステムの構造上2回行われる場合があります。

消音解除(リモコンボタンIIまたはIIIによる操作)

リモコンのIIまたはIIIボタンを1回短く押すことにより、確認チャープ音を消しながら解除することができます。

II or III
を一回押す。



車両側動作

LEDが消灯し、ハザードが3回点滅します。ドアがアンロックされ、動作中出力(GWA)が停止します。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示が「警戒中」から「解除中」に変わり、同時にチャープ音が2回鳴り(パイブモードでは振動2回)解除された事を知らせます。



解除中表示に変化



※ システムセット/解除時のアンサーバックはシステムの構造上2回行われる場合があります。

緊急(緊急リセットコードによる)解除

※ 緊急解除機能を使用するには、ドア信号入力線及びIG信号入力線が接続されている必要があります。

手順	作業内容
1	警戒(セット)中にドアを開け異常発報させます。
2	異常発報中にイグニッションキーを任意に登録した緊急リセットコードの回数ACC ⇄ ONの間で動かします。(ドアは開けたままの状態で行ってください。)
3	ドアを閉めます。

解除されます。
(手順3のドア閉めを行わない場合には、30秒間の異常発報停止後に解除。)

※工場出荷時の緊急リセットコードは6です。

ヒント

プッシュスタートシステム搭載車両では上記操作は困難ですので、別売オプション機能設定スイッチ:PBS-30をご使用ください。

その他の操作

ダイレクトドアロックのボタン操作

II & III を同時に短く押すことでシステムをセットせずにドア・ロック/アンロックのみをコントロールすることができます。

警戒中のシステム動作

ドア検知

車両側動作

ドアが開けられると30秒間またはリモコンで停止されるまで異常発報します。ドアによる発報はドアを解放したままの状態でも最大5回までです。その後は一旦ドアを閉め、再度ドアを開けるまで発報しません。

ページャーリモコン側動作

液晶画面上の車両ドア部分の点滅と同時にサイレンが鳴り(パイプモードでは振動)、車両ドアに異常が発生したことを知らせます。



セキュリティ警戒中のエンジン始動検知

機能選択表のインテリジェントIGプロテクト (IIP) のモード選択(15頁モード選択表参照)により下記2種類の動作を行います。

I プロテクトモード(エンジンスタータ非対応):

車両側動作

エンジンがかげられると30秒間またはリモコンで解除されるまで異常発報します。

イグニッションをONにしたままにすると本警報は最大で10回鳴り、11回目からは発報しません。



II エンジンスターター/ターボタイマー対応モード:

車両側動作

エンジンがかげられるとショックセンサーはエンジン停止まで無視されます。ただし、このモードが選択中であってもドアは引き続き監視中ですので、ドアが開けられた場合には異常発報が行われます。



ページャーリモコン側動作

いずれのモードでも警戒中にエンジンがかげられると、液晶画面上の車両後部タイヤ後方に「エンジン始動アイコン」が表示されます。

※ プロテクトモードではアイコン表示と同時にサイレンが鳴り(パイプモードでは振動)、エンジンが不正に始動されたことを知らせます。

※ スターター対応モードでは、エンジン始動時と停止時にメロディが流れます。



インテリジェントIGプロテクト

インテリジェントIGプロテクト (IIP) 機能はエンスタモードが選択されていても、警戒中にドア開けにより異常発報すると、その後再度セットされるまで、エンジン始動で異常発報し乗逃げをガードします。

警戒中のシステム動作（続き）


動作確認LED

警戒中は通常1秒に1回のゆっくりした点滅を行います。異常発報すると点滅速度が早くなり、一度解除され再度セットされるかイグニッションがONされるまで続きます。一旦発報が止まっても異常があったことを知らせてくれます。

GWA(動作中出力)

セット中にアースが連続して出力されます。ルミネーター等のオプション(別売)をコントロールする場合に使用します。

車両状況確認機能

ページャーリモコンの  ボタンを短く一度押す事によりその時点での車両状況(セクターの状況)を確認することができます。

ハイセキュリティサイレンストップ

車両で異常が発生し異常発報またはパニックによる発報をしている場合、ページャーのボタンを1回押すと、まずページャーでのサイレンが停止します。その後更にもう一度ページャーのボタンを押すと車両側での異常発報が停止し、警戒は続きます。解除したい場合には異常発報していない状態で **I**、**II**、**III**、のいずれかのボタンをもう一度押す必要があります。

センサー検知

シングルステージ:(弱衝撃)

車両側動作

付属の衝撃センサーまたはオプションセンサーが警告動作を行うとチャープ音が5回鳴り(サイレントモードでは鳴りません)、ハザードが5回点滅します。

※センサーバイパスモードでは反応しません。

ページャーリモコン側動作

液晶画面上のハンマーアイコンの点滅と同時に警告音が5回鳴り(パイプモードでは振動5回)、車両に弱い振動が加えられたことを知らせます。

※センサーが短時間(8秒以内)に連続して反応(警告反応)した場合には通信システムの構造上2回目以降のアンサーバックは行われません。



点滅

デュアルステージ:(強衝撃)

車両側動作

付属の衝撃センサーまたはオプションセンサーが警報動作を行うと、30秒間またはリモコンで停止するまで異常発報します(サイレントモードでは鳴りません)。

※センサーバイパスモードでは反応しません。

ページャーリモコン側動作

液晶画面上のハンマーアイコンの点滅と同時にサイレンが鳴り(パイプモードでは振動)、車両に強い振動が加えられたことを知らせます。



●この部分が点滅

その他の機能

ハザードの点滅

セット時→1回点滅、発報中→30秒間点滅、解除時→3回点滅、警告時→5回点滅、エラーチャープ時→2回点滅。

セクターバイパス(SBS)機能

同じセクターにより10回異常発報した場合、そのセクターは周囲への迷惑を防止するため11回目以降はバイパスされ反応しなくなります。バイパスを解除するには一度システムを解除し、再度セットする必要があります。(※ドアは除く)
※セクターとはドア、IG、センサー等の監視箇所のことです。

(トリガー)メモリー機能

解除時に通常3回の解除音が4回に変化し、通常警戒中は0.5秒に1回のゆっくりした点滅を行うLEDが、異常発報と同時に点滅速度が早くなります。LEDの早い点滅はシステムが再セットされるか解除中にイグニッションがONされるまで続きます。このような場合は車両に異常がないか確認してください。

通信圏表示機能

ページャーリモコンのボタン操作を行うと **I** アイコンが液晶画面に表示され、ページャーと車両が通信圏内にある事を示します。システムをセットした後車両からはなれ、その場所が通信圏内にあるかどうかをチェックするには **II** ボタンを一度短く押します。通信圏内であれば現在の車両状況とともに **I** アイコンが表示されます。**I** アイコン表示が消えてしまう場合は通信圏外であることを示しています。

パニックサイレン機能

リモコンの **I** ボタンまたは **III** ボタンを3秒以上長押しすることにより意図的に発報させることができます。このパニックサイレン機能による発報は30秒間続きます。発報中は、ハザードフラッシュとLEDの急点滅も行われます。

車両側動作

システムは異常発報後にセット状態となります。

※ ボタン **II** による操作の場合は発報せず、ハザード点滅のみとなります。

ページャーリモコン側動作

ページャー液晶画面の表示はボタンを押しているあいだアイコンが表示されたままとなります。車両側が異常発報を開始してからボタンを離すとページャー側でもサイレンが鳴ります(パイプモードでは振動)。

バックアップサイレン

専用キーでONすることで常時機能します。バッテリー端子の切断やサイレンの電源線を切断されると発報します。

※ 車両のバッテリーを交換する場合は事前に専用キーでOFFにしてください。OFFにしないとサイレンが鳴りっぱなしになり故障の原因となります。

各種機能の設定

本製品は、お客様のご利用環境に、より適応させるための便利な機能を搭載していません。モード選択の方法は以下の手順にしたがい、下記表にある回数イグニッションキーをON/OFFさせます。

1. リモコンを使って一度システムをセットした後すぐに解除します。
2. 解除後20秒以内にイグニッション・キーをACCポジションからONポジションへ必要回数動かし、再びACCポジションへ戻します。(20秒以内に必要回数動かしてください。)
3. 上記操作終了後ただちにリモコンの **1** ボタンを押します。
4. ハザードランプがイグニッションキーをON/OFFした数と同じ回数だけ点滅し、モードが変更された事を表示します。
5. モード変更完了です。別の項目を変更する場合は手順1.~4.を繰り返します。



ヒント

モードは上記手順1.~4.を繰り返すたびに入れかわります。

モード選択表:

ON/OFF回数	選択機能	選択内容	工場出荷時
3	インテリジェントIGプロテクト(エンスタ対応)	ブ ロテクト/インスタ	ブ ロテクト
4	リモートスタート中確認動作	ON/OFF	OFF
8	オートアーム	ON/OFF	OFF
10	オートリアーム	ON/OFF	OFF
17	イクステリアイルミネーション	ON/OFF	OFF
20	リモコン登録/リセットコード変更※	初期値 "6"	

※17、18頁参照



ヒント

プッシュスタートシステム搭載車両では上記操作は困難ですので、別売オプション機能設定スイッチ:PBS-30をご使用ください。
PBS-30を使用される場合には、上記手順でイグニッションキーをON/OFFするかわりにPBS-30の赤ボタンを押します。

機能選択項目説明

インテリジェントIGプロテクト(エンジンスターターに対応)

- ・「プロテクト」を選択した場合、警戒中にエンジン始動すると異常発報します。
- ・「エンスタ」を選択した場合、エンジン始動中はドア開け検知以外では異常発報しないためエンジンスターター/ターボタイマーとの併用が可能です。

※ インテリジェントIGプロテクト(IIP)機能はエンスタモード選択中でも、警戒中にドア開け信号を検知し異常発報すると、その後再度セットされるまで、エンジン始動で異常発報し乗逃げをガードします。

リモートスタート中確認動作(エンスタ連動ライト)

「ON」を選択した場合、警戒状態でエンジン始動中はハザードランプが点灯し続けます。

※この機能はエンジンスターター「対応」設定されている場合に有効です。

オートアーム

「ON」を選択した場合、イグニッションOFF後最後にドアを開閉した時点から20秒経過すると、自動的にシステムをセットします。(ドアロックは行いません。また、アンサーバック時にはドアロックマークは「開」表示となります。)

オートリアーム

「ON」を選択した場合、システムを解除した後60秒以内にドアが開けられるか、イグニッションキーがONされない場合には自動的に再セットします。

※ 結線の方法によっては、ドアロックの解除に連動してルームランプ等が点灯する車両では利用できない場合があります。

イクステリアイルミネーション(解除点灯機能)

「ON」を選択した場合、解除時のハザード点滅(3回)後ハザードランプが点灯します。点灯は30秒経過するか、ドアが開くか、IGがONになるまでつづきます。夜間の駐車場でお車を見つけやすくします。

※ ドアロックの解除に連動してルームランプ等が点灯する車両では利用できません。

ヒント

異常発報とはシステムが異常を検知し、サイレン鳴動やハザードフラッシュを行う事です。システムが通常セットされている場合には30秒間のサイレン鳴動と、ハザードフラッシュを行います。サイレントモードでのセット時にはハザードフラッシュのみとなります。



リモコン登録方法

本製品はリモコンを任意で最大3個(標準付属のリモコン以外に2個)まで登録可能です。リモコンの登録は下記手順にしたがって行うことができます。

手順	作業内容
1	ドアを一度開け、すぐに閉めます。
2	イグニッション・キーをOFF→ACC→ON→ACC→ON→ACC→ONと操作します(3回目のONでON状態のままにする)。
3	運転席のドアを開けます。 LEDが点灯します(5秒間)。
4	LEDが消灯します(2秒間)。この間にドアを閉め、すぐに開けます。 LEDが点灯します(3秒間)。
5	LEDが消灯します(2秒間)。この間にドアを閉めます。
6	イグニッション・キーをOFFにします。 ハザードランプが20回点滅します。
7	(点滅が終わったら、)ページャーリモコンの 1 ボタンを1回押します。
8	チャープ音が1回鳴り、ハザードランプが1回点滅します。 (予備リモコンがある場合)すぐに予備リモコンの 1 ボタンを1回押します。 チャープ音が1回鳴り、ハザードランプが1回点滅します。
9	イグニッション・キーをON/OFFします。 LEDが緊急リセットコードの回数だけ点滅します。 チャープ音が3回鳴り、ハザードランプが3回点滅します。 登録作業終了です。



注意!

複数のリモコンを登録する場合は1回の登録モード中に登録したいすべてのリモコンのボタンを順に押してください。新しいリモコンを登録すると古いリモコンのIDはすべて抹消されますので、現在お使いのリモコンも再度登録する必要があります。



注意!

複数のページャーリモコン(TR53A-5G)をご利用される場合、本システムは一番最後に操作されたリモコンへアンサーバックを行うようプログラムされています。



ヒント

プッシュスタートシステム搭載車両では上記操作は困難ですので、別売オプション機能設定スイッチ:PBS-30をご使用ください。

緊急リセットコード変更方法

本製品は電池切れや紛失等でリモコンが使用不可能な場合に、緊急リセットによりシステムをリセット(解除)することができる機能を搭載しています。

セキュリティ性向上のため本製品をご使用される前に必ず緊急リセット用コードの変更を下記手順にしたがって行ってください。

※工場出荷時の緊急リセットコードは“6”です。

手順	作業内容
1	ドアを一度開け、すぐに閉めます。
2	イグニッション・キーをOFF→ACC→ON→ACC→ON→ACC→ONと操作します(3回目のONでON状態のままにする)。
3	運転席のドアを開けます。
LEDが点灯します(5秒間)。	
4	LEDが消灯します(2秒間)。この間にドアを閉め、すぐに開けます。
LEDが点灯します(3秒間)。	
5	LEDが消灯します(2秒間)。この間にドアを閉めます。
6	イグニッション・キーをACCにします。
ハザードランプが20回点滅します。	
7	点滅が終わったらイグニッション・キーをACCポジションからONポジションへ動かしてそのままにします。
8	LEDが約20秒間点灯した後ゆっくりと点滅を始めます。点滅回数は1～30回です。自分が登録したい緊急リセットコード(1～30)と同じ数だけ点滅するのを数えます。
9	ご希望の緊急リセットコードと同じ数だけ点滅したら、すぐにイグニッション・キーをOFFポジションに戻します。
LEDが緊急リセットコードの回数だけ点滅します。	
チャープ音が3回鳴り、ハザードランプが3回点滅します。	
登録作業終了です。	

注意!

・登録した緊急リセットコードは絶対に忘れないようにしてください。

ヒント

プッシュスタートシステム搭載車両では上記操作は困難ですので、別売オプション機能設定スイッチ:PBS-30をご使用ください。



Q & A

Q1 :車を点検に出したらリモコンが効かなくなった!

A1 : 車両点検作業の際にバッテリーをはずす等して電源ラインにノイズが発生すると、まれにリモコンのメモリーが消えてしまうことがあります。バッテリーをはずす前に必ず本体のメインカプラーを抜いてから作業を行ってください。

☞システムセット中に効かなくなった場合には、緊急解除コードを使用してセキュリティを解除します。すぐに続けてリモコン登録モードに入り、リモコンの登録を行ってください。(本説明書17頁リモコン登録方法を参照)

Q2 :リモコンを紛失して不正利用されるのが不安!

A2 : ☞本製品ではリモコン登録の方法として、よりセキュリティ性の高いオールリセット方式を採用しています。この方式ではリモコン登録時に登録されているすべてのリモコンIDが消去され、新たに登録されたリモコンのみが利用可能となります。

本書17頁を参照してリモコンの再登録を行ってください。紛失したリモコンでは操作できなくなります。

Q3 :出先でリモコンを紛失してしまった!

A3 : 緊急解除コードを使用して解除することができます。解除方法は本説明書11ページの「緊急(緊急リセットコードによる)解除」を参照してください。

Q4 :リモコンの電池が切れてしまった!

A4 : 本製品のTR53A-5Gページャーリモコンには市販の単4型アルカリ乾電池を使用します。お近くのコンビニエンスストアやホームセンター等でお買い求めください。 ※ 充電電池は使用しないでください。

Q5 :システムはセットされているのに何も反応しない!


A5 : システムセットの際にリモコンボタンCH2を使用していませんか?

II を使用するとサイレントモードでセットされるため取付内容によっては何も反応していないように感じる場合があります。(本説明書7ページ「サイレントモードのセット」をご参照ください。)

Q6 :異常発報時にリモコン操作ができない!

A6 : 警告通知時または異常発報時には、通知開始から数秒間は常に車載器が送信状態、ページャー側が受信状態となるためにページャーリモコンからの操作はできません。発報から6~10秒たってから、リモコン操作を行ってください。

Q7 :ページャーの表示がおかしい!

A7 : ページャーリモコンに使用している電池の電圧が下がりすぎてしまったり(電池交換アイコンがついているにもかかわらず使い続けた)、ページャーを落とす等して衝撃を加えた際に電池が一瞬電池ホルダーからはなれたり、電池ホルダーに酸化皮膜ができる等してページャー内の電源電圧が低くなりすぎた場合には、液晶表示がおかしくなる事があります。このような場合にはページャーリモコンから一度電池を抜き、 ボタンを押してから電池を入れてください。

Q & A

Q8: プッシュスタート車両での緊急リセットの方法は？

- A8: プッシュスタート車両はブレーキを踏まずに車両の「スタートボタン」を一度押すと「ACC」もう一度押すと「ON」さらにもう一度押すと「OFF」になります。つまりプッシュスタートの車両ではプッシュ3回で1セット=通常のキーでのON/OFF 1回に相当します。例えば緊急リセットコードが6の場合には3回 X 6 = 18回スタートボタンを押す事により緊急解除が可能となります。
- ※上記操作時はドアを開けたまま行ってください。また、スタートボタンを押す作業はあわてずに確実に行ってください。
- ※上記操作は非常に困難ですので、別売オプション:PBS-30をご使用ください。

Q9: リモコンはいくつまで増設できますか？

- A9: 最大3個までです。
- 複数個のリモコン(ページャー)を登録した場合には最後に操作したページャーリモコンにアンサーバックされます。

Q10: スマート/カードキー装着車で、SCIBORGを装着してからスマートキーやカードキーでエンジン始動できないことがある！

- A10: ページャーリモコンとスマート/カードキーを束ねていませんか？
- ページャーリモコンは電波機器です。ページャーリモコンはその機能上まったく操作していない場合でも周囲電波の確認や本体との通信を行う事があります。このためスマート/カードキーとページャーリモコンが密着するような状態の場合、まれに電波干渉により純正キーのIDが車両に認識されずにエンジン始動できない事があります。
- ページャーリモコンと純正のスマート/カードキーは10cm以上はなすようにしてください。

Q11: 車両純正リモコンでドアロックするとSCIBORGセキュリティシステムからアンロックできないのですが？

- A11: 多くの車両では純正のリモコンでドアをロックした場合には純正のリモコンでなければアンロックできない構造になっています。お客様のお車がそのような構造になっているかどうかは認定店にご確認ください。

Q12: システムのセット/解除時に2回アンサーバックがすることがあるのですが、故障でしょうか？

- A12: システムは正常です。システムセット/解除時のアンサーバックはシステムの構造上2回行われる場合があります。

Q13: 続けて警告反応させたのですが、車両での反応はするのですがアンサーバックしません。故障でしょうか？

- A13: システムは正常です。センサーが短時間(8秒以内)に連続して反応(警告反応)した場合には通信システムの構造上2回目以降のアンサーバックは行われません。

《保証・無料修理規定》

- 1: 本製品の保証期間はご購入日より1年間です。
- 2: 取扱説明書の注意事項にしたがった正常な使用状態で保証期間中に万一故障した場合は、ご購入の販売店にて無料修理いたします。ただし、出張修理の場合は実費を申し受けます。
- 3: 保証期間内に故障して無料修理をご依頼になる場合には、製品と本書をご持参の上ご購入の販売店にてご依頼ください。保証書のない場合には保証対象外となります。又、必ずご購入シートを添付してください。
- 4: ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるご購入の販売店に修理をご依頼できない場合には、当社へ直接お送りください。
- 5: 本製品は持ち込み修理品です。製品をお送りいただく際の送料および取りはずし、取付費用は、お客様のご負担となります。
- 6: 保証期間内でも次の場合は有償となります。
 - リモコン電池等の消耗品の交換、及び電池の液漏れによる故障、損傷
 - 製品内への水・油分等の浸入による故障及び損傷
 - 使用上、取付上の誤り、不注意による故障及び損傷
 - 不当な修理、改造による故障及び損傷
 - ご購入後の落下等による故障及び損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害、塩害等による故障及び損傷
 - 普通乗用車以外に使用された場合の故障及び損傷
 - 本書のご提示がない場合または保証書記載事項に不備のある場合
 - 本書にお買上げ日、購入者名、販売店名の記入のない場合、字句を書き換えた場合
 - 当社指定の取付認定店以外で購入、取付された製品
- 7: 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan)
- 8: 本書は再発行は致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

注意!

- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものではありません。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- ※ 保証期間経過後の修理等についてご不明な点は、ご購入の販売店へお問い合わせください。
- ※ 各記入欄に必要な事項の記載のない保証書は無効となりますので、記入の有無をご確認ください。万が一記入漏れ事項がある場合は、直ちにご購入の販売店にて
- ※ お申し付けください。
- ※ 製品同梱の適合証明書は車検時の審査通過を保証するものではありません。本製品の動作の有無に関わらず盗難等の被害については当社では一切の責任を負いかねます。

製造元 株式会社キラメック

〒475-0936 愛知県半田市板山町9丁目183番地1

お問い合わせ先：0120-504-980 (土、日、祝祭日、当社休業日を除く)
AM10:00~12:00・PM1:00~4:00